



安住寺だより

禅の心

第147号

発行 安住寺 (年4回発行)

臨済宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 TEL 0978-62-2680

URL <http://www.anjiuji.net>

編集 矢野明玄

印刷 安住寺

平成26年 棚経日程

八 月	8日	金	東大内山全戸
	9日	土	西大内山全戸
	10日	日	永代橋、新興、藤川、丸尾、茅場、大添、守江
	11日	月	別府市、日出町全戸
	12日	火	南台、杉山、魚町、谷町、本町
	13日	水	札ノ辻、錦江、広小路、錦城、北浜 鴨川、須賀 安岐町、国東町
	14日	木	下原、菊本、桃山、宗近、中平、下本庄 弓町、天満、西新町、古野
	15日	金	安心院、大分市 東下司全戸 中ノ原、守末、祇園、煙硝倉、西上、北台

今年の棚経日程は上記のとおりです。初盆供養や仏事もありますので、時間のお約束はできません。ご不在とかでご都合の悪いときは、早めにご連絡下さい。出来る範囲で調整いたします。

暑中お見舞い
申し上げます

平成二十六年 盛夏

住職 矢野明玄
責任役員 矢野玄徳
責任役員 川上浩
総代 一同

初盆会

今年もお盆の時期になり初盆を迎える家も少なくありません。

昨年、全国で亡くなられた方は、百二十六万八千四百三十二名だったそうです。もちろん、皆が仏教徒ではないので何とも言えませんが、それぞれに故人を偲んでおられることでしょう。

他の地域ではどうか、か良く分りませんが、大分県内では、葬祭場やホテル等で『初盆会』を催す家が増えてきたようがあります。



宇佐八幡宮の大賀ハス

但し「提灯、お供え等」はご遠慮申し上げます。自宅へは来ないで」と

知らせています。

お付き合いや取引関係が広がったりすれば、多少は理解が出来ますが、一般家庭では無いでしょう。しかし「初盆が大変だ」と、苦にされての声も少なくないようです。一方で、初盆の供養を皆でしたいけれども出来ない。と言う家もあります。家族が崩壊している状態です。中でも家族による殺人は痛ましい。厚木市でわが子を放置し死亡させた事件がありました。五歳で死亡し七年以上も発見されず白骨化していました。皆さんと共に心からご冥福をお祈りいたします。

施食会 (おせがき)

八月三日(日) 八時より法要

おとき 九時と十一時半より

お参りの方は、おときの時間を決めてお知らせして下さい。(地区世話人さん経由)

施食会は会費等不要です

―より良く死ぬこと―

くより良く生きる」とく

「息子や嫁に財産残しちどげえすつかい」

「それでも、最後は面倒見ちもらわなわるかる」

「なーんが、面倒みちくるるわけねかるおがえ」

「渡したお金は、いつの間にか、みな使われつしまうで」

「じゃろーか？」

「じゃーちゃ。それより美味しいもん食べち、旅行しち、楽しもうえ！」

このやりとりは、レストランで食事中、近くの初老のご婦人の会話である。

こんな話しを、一時間ほど続けたらどうか、周りのお客さんも声の大きさに注目していた。

より良い人生の終わりを迎えるために、終活することばもでき、葬儀や墓をどうするか、遺産をどうするかなど、準備する中で残りの人生を再考する。

また、おひとり様、孤立社会、無縁社会、などといわれて何年も経ちますが、このご婦人方のように家族もあり無縁でなくとも、老後の生活が心配であることは同じであろう。

樂觀的に生きるか、慎重に準備、計画して生活するかは個人の自由である。

孤立や無縁もネガティブなイメー

ジもあるが、誰にも迷惑を掛けたくない、進んで孤立、無縁を選択している場合もあり、難しい問題でもある。しかし、孤立死を迎えた場合その後のことは大変である。

完全に孤立しているわけではなくとも、地域とのかかわり家族とのかわりが希薄になり、一人暮らしをされている方が、檀家さんの中にもあります。

その一方で、おひとり様ビジネス、終活ビジネス、無縁ビジネスなるものは年々盛んになっている。

どこまで行っても資本原理は付いて回る。



挿し木で育て、観音寺に移植した紫陽花。今年もきれいに咲きました。

もともと無縁という言葉は仏教用語であります。『無縁の慈悲』などといい、誰かの為というような対象の区別が無く、すべてに平等に与える、絶対の慈悲の境地をいい、人と人との関係が希薄になり孤立してしまふといった意味とは違ったものであります。

梅原猛氏の著書『日本人の魂』で氏は死生観を次のように書かれています。

「あの世について語らなくなった現代人は、死についても語らなくなったのである。人類の思想において、死についての深い思弁はあの世についての教説と深く結びついている。あの世への信仰を失うことによって、死についての思弁も失ってしまうのである。それで現代人は死について深く考えることをやめ、つとめて死を忘れて生きようとしていると思われる。」

方便として、あの世を語ることはあっても、あの世への信仰を失い、死について深く考えることを無くし、死を忘れて生きる現代人に、納得する部分もあつたように思う。

しかし修行では「単布団の上で死んでこい」と生死の観念を破るよう、師匠に薫陶をうけ、この世で一度自己を死にきつて、そこから新しい命を生きることを学んだ。

お釈迦様の最後の言葉に

修行僧たちよ。お前たちに告げよう、『もろもろの事象は過ぎ去るものである。怠ることなく修行を完成なさい』

死を考え、準備するということは、より良く生きたいと思う願いからである。

皆様の毎日が、和やかで輝きあることを願っております。

お知らせ

今年の2月より、錦江橋北詰の飛び地にありました、旧自動車整備工場の整備場に使われていました建物を、役員総代の皆様のご了承を得まして、板張りの道場に改装させていただきました。

現在のところ、週に1・2回利用しておりますが、日中はほとんど空いております。

広さは60平米程で狭いですが、トイレや流しも設備してあります。

小さな集会やお稽古事などにも利用していただけるのではないかと考えております。ご利用をお考えの方は、一度住職までご相談下さい。



「棚経の日程について」

長男・長女もお参り致します。

昨年は、長男・玄悠と一緒に棚経を、お勤めさせて頂きました。

今年は長女の綾佳もお勤めに上がる予定にしております。女の子でする温かく見守っていただきますようお願いいたします。

ところで昨年の棚経では、どの地区にお参りするか、お知らせしていなかった為「待っちゃったのに来ちくれんじやったなあ」「楽しみにしちゃったのに！」などと声を頂きました。そこで、今年は三人でお参り出来るであろう地区を、お知らせ致します。

八 日、東大内山下・中地区
九 日、西大内山上地区
十 日、永代橋
十二日、本町・谷町・杉山
十三日、札の辻
十四日、菊本の一部
十五日、中ノ原



※右が該当の地区になりますが、その日の都合、子供の体調等で変更になることもありますのでご了承下さい。

「晋山式を祝う」

四月四日快晴、空路羽田からJRを乗り継ぎ、伊豆急行線「伊豆踊り子号」の車窓から相模灘の素晴らしい景色を眺めながら、修行同参の後輩で伊豆稲取、清光院・菅原大導師の晋山式に随喜させて頂きました。



師は在家出身で禅門に入り、修行時代には、現南禅寺管長 中村文峰老師のお世話役を、私と一年間勤めた仲であります。

数年前に無住のお寺に入寺して以来、本堂修繕、庫裏新築、墓地整備など伽藍を一新し、晋山式の風習の無い伊豆稲取で、自ら心を込め晋山式を準備し、お世話になった方々へ御礼の気持ちを表したのを見て、改めて師の素晴らしさを感じました。
中村文峰老師は修行時代、寺の畑で里芋が取れると、水を張ったたばに芋を入れ、すじかい棒で洗って見せてくれた。

真っ白に皮の剥けた芋を皆に見せ、修行の仲間も、互いに研鑽し、切磋琢磨し、身も心も芋のように真っ白になるようにと、お話し下さいました。仏教や禅に影響を受けた、ステイブ・ジョブズ氏が残したことばがある。

仏教には「初心」という言葉があるそうです。
初心をもっているのは、すばらしいことだ。



この日は、沢山の修行仲間と久しぶりに時間を過ごし、大導師の門出を祝うと共に、初心を思い出す旅になりました。

【日々是好日】

●長女が四月に小学校入学、双子が六月に二歳に。子供の成長はありがたいものです。それにしても、毎日が嬉しい。日頃から気にかけて下さ

る皆様に感謝いたします。●説教会の布教師、貝野孔隆師は私よりも歳若いのですが素晴らしいお話でした。まだまだ私も勉強が足りません。来年も多くの檀家様のお参りをお願いいたします。●五月十八日、TOS、田辺智彦・野島亜樹アナウンサーが写仏体験の取材に。「わがまま、気まま、旅気分」で放送がありました。テレビを見ないので、恥ずかしながら両アナウンサーを存じ上げませんでした。●五月二十一日、臨済宗・黄檗宗の和尚様でソフトボール大会県内の和尚チームが準優勝。(私は肉離れのため応援でした。)●七月一日「社会を明るくする運動」協賛托鉢に、臨済宗青年僧の皆さんと大分駅前、中央町竹町を中心に托鉢。大分駅ビルの開発に伴ってか、昨年に比べ人通りの少なくなったことに驚きました。肝心の大分駅には何年も行っていないませんが、来年春開業とのこと。静かになった頃行ってみよう。●定例坐禅会には、平均六・七名が参加いただいています。坐を組まなくても、正座でも、無理なく椅子でも構いません。静かに、ひとときを共に坐りましょう。八月はお盆の為お休み。九月涼しくなって、会員さんが増えるのを楽しみにしています。●安住寺だより「禅の心」も一四七号になります。少しでもお寺のことを知っていただきたいと、願っております。少しでも多くの方に読んで頂ければ幸いです。(明玄合掌)



夏雲多奇峯 廣石碩田先生筆
ご希望の方に差し上げます。お申し出下さい。

合掌会だより

四月二十六日に会員百二十名が出席し、総会が開催されました。前年度の行事・決算報告や本年度の計画案が承認され、役員改選がありました。

是久弘子会長の後任には、是久妙さんが会長に選任されました。他の役員共々二年間よろしく願います。



今年度は、秋にバス旅行を予定しています。男性も参加できます。



行事予定

八月中・写経・坐禅・詠歌休み

九月八日・ご詠歌

十七日・ご詠歌・観音講

二十二日・写経

九月下旬・敬老会

坐禅会・毎月第二・第四土曜

観音講は午後一時より、写経・坐禅会と同様に、どなたでも参加できます。都合により変更する場合があります。坐禅と写経は参加者が増えましたが、観音講は少なくなりました。いつか行こうと思つて居る人は今ですヨツ！お待ちしております。

今年 初盆会 を迎える方々。

阿部	様	65歳
毛利	様	46歳
藤原	様	88歳
是久	様	83歳
荷宮	様	96歳
江藤	様	85歳
西野	様	98歳
河野	様	84歳
河野	様	98歳
麻生	様	92歳
荒巻	様	87歳
廣石	様	86歳
高橋	様	80歳
伊藤	様	93歳
石井	様	94歳
河野	様	81歳
工藤	様	84歳
森	様	81歳
上園	様	69歳
甲斐	様	76歳
清未	様	30歳
森永	様	57歳
加藤	様	86歳
下山	様	92歳
松本	様	80歳
須賀	様	86歳
山口	様	71歳

上記の方々が本年初盆会を迎えます。
檀信徒の皆様と共に謹んでご冥福を、
お祈り申し上げます。



護持会費

墓地管理料のお願い

七、八月は、護持会費と境内墓地管理料の納付時期となっています。お忘れなく納入されます様、よろしくお願い致します。

市内の方は、地区世話人を通じて、市外の方は郵便振替をご利用下さい。



安住寺境内墓地
やすらぎの塔